



原子力災害発生から札幌市へ避難するまでの流れ

事態の進展

EAL(AL)

(例) 泊村で
震度6弱以上の地震発生

EAL(SE)

(例) 発電所に外部から
電気を供給できない

EAL(GE)

(例) 原子炉に注水
(冷やすこと)ができない

基礎値を超える
放射性物質が
検出

ポイント!

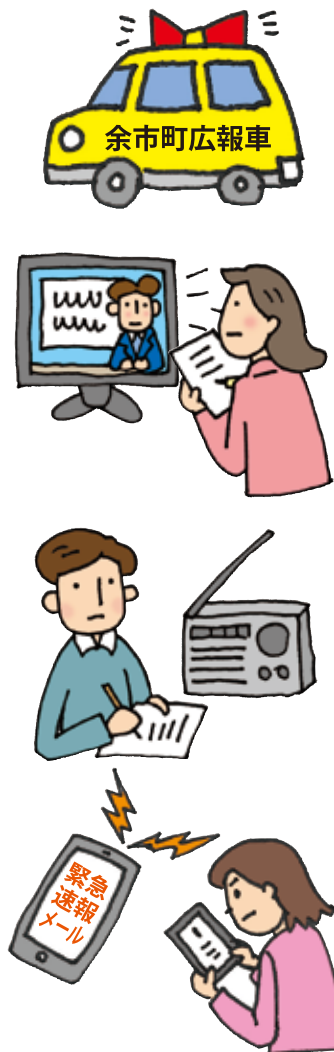
札幌市内の避難所へ向かう途中、
必ず「避難退域時検査場所」と
「つどーむ」を経由!

避難先
札幌市

余市町
〔UPZ：泊発電所から、概ね30km圏内〕

情報収集

余市町からの広報やテレビ、ラジオの報道に注意



屋内退避の準備

屋内退避の指示が出たときに備え、準備をする



屋内退避

- 家屋内に入り、顔や手を洗う
- ドアや窓を閉め、換気扇を止める
- なるべく窓際を離れて屋内中央にとどまる
- 外から帰ってきた人は、衣類を着替える。着替えた衣類は、ビニール袋などで密閉して保管する。



避難又は一時移転

自家用車やバスにより避難



避難退域時検査

放射性物質の付着状況を検査、必要に応じて簡易除染等を実施



ポイント!

バス集合場所は、裏表紙の一覧で確認!



つどーむ (一時滞在場所)

避難者の受付、ホテル等への案内



避難所 (市内のホテル、旅館)

全55施設、
約24,800人受入可能



安定ヨウ素剤の配布

「バス集合場所」や「避難退域時検査場所」で安定ヨウ素剤を配布



避難行動